

令和5年度 各学部、分掌 重点目標一覽

NO.1

A：達成できている。 B：概ね達成できている。 C：あまり達成できていない。 D：全く達成できていない。

重点目標	学部	具体的な取組	評価指標	目標値	評価項目	年度末アンケート結果		今年度の取組状況 (○できたこと △課題)	～来年度の取組～ ①重点的に取り組むこと ②改善して取り組むこと	学校関係者評価 (コメント・意見等)
						A	B			
(1) 子どもが主体的・対話的に活動し学びを深める授業づくり	幼稚園	・幼児が安心して身近な大人や友達とかわかって遊ぶように、幼児に寄り添った環境設定(活動の流れや活動内容等)の工夫を行う。	【教員(幼)：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合	70%	・幼児の実態に合った活動の流れを検討することで、幼児が身近な大人や友達とかわかって夢中になって遊ぶことができてきましたか。	A 3人 B 2人 C 0人 D 0人	100%	○生活時程の見直し(2) ○おはようタイムのダンス→歌→リズムの流れができてきた。(3) ○午前中の保育活動の振り返りのお絵描きでは、幼児は自分の描きたいものを自由に描き、教員は活動中のエピソードを描くようにしている。 ・生活時程を見直し、幼児がひとつひとつの活動を余裕をもって行えるようにしたことで、教師が幼児の気持ちの寄り添いやりとりをしながら活動に取り組むことができ信頼関係を築くことができた。結果として、幼児の遊びを保障し、しっかり遊ぶことができた。	①おはようタイムで年中児が中心となって流れを作り、幼児の活動量を増やす。 ②地域との交流(古江幼稚園、あさひ乃苑) ③他学部との交流	・他学部との交流を活発にして相互に良い効果が出るような工夫をお願いしたいです ・地域との交流も良い刺激になられると思います ・幼児がひとつひとつの活動に余裕を持って行える環境は良いと思います。次年度に向けて交流をすることで幼児の世界を広げていくことになり良いと思います。異年齢児との交流、縦の関係の交流も幼児にとって非常に大事だと考えます ・保育活動が描画活動につながって来て素晴らしいです。描画を終着点とするだけでなく描画活動が次の体験活動の意欲につながるとよりよいですね ・きめ細やかな保育でゆったりと活動していることを感じました。発表会で拝見した学校紹介ビデオのなかでは他のクラスの子もたちとの交流もあるようでとても楽しそうです ・子どもたちに無理をさせないようにあせらずに見守ってほしいです。幼児と先生方の気持ちの伝え合うことができることで喜びを感じられるといいですね ・時間帯の見直しはともよいかなと思います。通学時間や起床時間などもさまざまな少人数の子供たちが心身の状態を合わせられるようにできる取り組みはよいことだと考えました。現在の幼稚園の生徒さんがまだ言語・コミュニケーションが整っていないので次年度は言語・コミュニケーションが広がる取り組みができればと思います ・かきばら祭でのステージ発表は、日頃から発達段階を考慮して丁寧に関わっておられる成果だと拝察しました
	小学部	・各学習活動において、協働的な学びを効果的に取り入れ、学びの充実を図る。	【教員(小)：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合	70%	・各授業において協働的な学習の場面を設定し、授業づくりの検討をとおして、重点目標達成に近づくことができたか。	A 2人 B 13人 C 0人 D 0人	100%	○児童の実態に応じて、学級集団や学級間をまたいだ取り組みを進め、協働的な学びを取り入れながら学習を進めた。 ○授業研究等を通して授業づくりについて学部で振り返ったり、協働的な学びの事例を学部内で共有したりした。 △重点目標に近づいたかどうかの検証まではできなかった。	①各学習活動において、協働的な学びを効果的に取り入れ、学びの充実を図る。	・児童の様子を見と楽しく意欲的に頑張っていると感じました ・学級間をまたいだ取り組みは先生方の労力のかかるところだと思いますが生徒さんにとっては大事な経験をされたと思います ・児童の実態に応じて対応されているが検証が不十分なのか日評価が多いと思います。A評価でない点について教員間での意思疎通が必要ではないかと感じました ・△の点：検証のための指標が作成できると検証、改善につなげやすそうです ・発表会での太鼓演奏を拝見して学級をまたいだ協働作業/活動がとても有机的にできていると感じました。それぞれの個性、発達段階に応じて成果が出ているのだと思います ・お友達同士のコミュニケーションが取れているかとても気になります。生徒の数が減っているとコミュニケーションを取る機会がどうしても減るのでぜひ調査してほしい ・他者の意見を聞くことはとても大事に感じます。また他者に伝えるのも大事になります。子供たち自身に伝わりやすかったと感じさせることも大事で、伝わりやすくするにはどんな工夫をすればよかったのかを取り組めるとよいかなと思います ・かきばら祭の太鼓はそれぞれの力が発揮できるような構成になっていてとても感動しました
	中学部・高学部	・総合的な学習《探究》の時間を要として、体験的、協働的な学びの充実を図る。	【教員(中高)：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合	70%	・今年度の実践と、研修(研究授業や学部研、実態把握、教務提供資料など)をとおして、体験的、協働的な学びの充実を図ることができたか。	A 6人 B 9人 C 0人 D 0人	100%	○実物や体験をとおして学ぶことが、言葉で学び、言葉で経験を振り返り、言葉を活用して順序立てて思考・表現する力を育てていくことにつながった。 ○研究授業として公開した、中学部の総合的な学習の時間の実践を核に、協働的な学びについて、授業のポイントなどを考える機会が持てた。またピクトグラムの資料を活用して一人一実践を振り返り、協議を通して授業づくりについて考えることができた。	①引き続き地域資源を積極的に活用し、体験的、協働的な学びをとおして深い学びにつなげたい。 ②中学部の総合的な学習の時間の実践を通して、多くのヒントを得ることができた。これらを各教科の指導でも生かしていきたい。	・校外学習を行うなかで、ろう学校や聴覚障がい者の理解が進むような取組はかかものではないか ・校外学習を積極的にされている様子は学校HPなどからもよく伝わってきます ・地域に出向く校外学習もされており生徒自身が探求している姿を見ることが出来ます。卒業を見据えて地域の方に聞こえない聞こえにくいことも伝えながら、どうコミュニケーションを取っていくかも生徒に経験していただく良いかなと思っています ・校外学習や体験的学習などが行えたということ、とても頼もしく感じました。次年度にもさらに継続され好結果をもたらすのではないかと期待がふくらみます。地域資源の活用についてはさらに継続、発展できるとそれぞれの今後の進路にもつながるのではないかと感じます ・総合学習でテーマを決め研究し自分でパワーポイントにまとめて発表したことをよく覚えています。調べる(研究)→まとめる→パワーポイントの技術を学びながら発表資料準備をしたことが私自身社会に出てからすく役に立っています。その経験もぜひ増やしてほしい ・地域資源を体験することは学びにはつながっている印象ではあり総合的な学習となりつつある。今後の課題にも書いてあるように各教科への学力にどうつなげていくかが課題と感じました ・「体験に勝る学びはない」という言葉もあるように多くの体験を通じ豊かな学校生活となるよう願っています ・中学部の防災についての発表がとてもよかったです。高等部の一畑電車の乗り方の動画もとてもよかったです
	教務部	・教育課程検討会を活用しての「総合的な学習《探究》の時間」「あそび」の年間指導計画を検証し、見直しを行う。 ・「教務便り」等による総合的な学習《探究》の時間等に関する情報提供を行う。	【教員(幼小中高)：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合	70%	・各学部での話し合いの場や、教務からの情報提供資料を通して、総合的な学習《探究》の時間等についての理解が深まり、計画を見直し改善を図ることができたか。	A 7人 B 21人 C 7人 D 0人	80%	○総合的な学習《探究》の時間等について資料で情報提供を行った。 ○総合的な学習《探究》の時間等についての理解が進んだ。 △会議の設定の仕方や情報提供の方法に工夫が必要だった。 △学部ごとに今年度の計画を振り返り、来年度の改善につなげるようにする。	①②校務支援システムでの円滑な各種計画作成のための支援 ・作成に関する手順やポイント等の提示 ・問題点に対しての適切な対応	・振り返りについて先生方の意見がありますので今年度の評価が大切だと感じました ・探求の時間はさまざまな形があると思いますが、共有しより良い方向性を目指しておられることが理解できました ・C評価の教員も多く理解の促進について配慮すべきことは行っていただきたと感じました ・△の点：些細なことでもよいので具体的な改善計画を立てることも検証できそうです ・「総合的な学習《探究》の時間」「あそび」の年間指導計画を検証し見直し、そしてその結果を「教務便り」による情報提供、このサイクルがうまく回ることで次年度にもつながっていていると思います ・年間を通しての時間数は、適切かどうかは判断が難しいところだと思います。だから、計画と振り返りが大事だと感じました。振り返りを学期区分や月毎などスモールステップを踏むことが大事だと考えました
研究部	・学部研究、経験者研修や各公開授業を中心とした授業研究をとおして、協働的な学びを推進する。	【教員(幼小中高の授業担当者)：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合	70%	・経験者研や各公開授業を中心とした授業研究は、協働的な学びの推進に役立ちましたか。	A 11人 B 23人 C 1人 D 0人	97%	○各経験者研、公開授業を通じた授業研究の実施。 ○協働的な学びに向けた、各教員やグループの取組を明らかにする。 △学部によっては成果(変容)までは明らかにできなかった。	①今年度明らかになった「協働的な学びを行う上で有効な手立て」を参考に授業づくりを行い、成果を記録する。 ②「学部を越えて、研究授業を見たり授業研究に参加したりできる機会を設ける」。 ・授業づくりの研修会の実施。	・学部をこえた研究は有効だと思います。幼～高の一貫した指導をお願いします ・先生方の授業づくりに対する積極性が伝わります。お忙しい中だと思いますが生徒の学びに重要なことと感じます ・学部を越えて研究授業を見たり授業研究に参加できる体制整備は効果があるように感じます。聞こえの状況もまちまちの中、児童生徒がどのようなコミュニケーションスキルをどう用いるかも学部を越えて考えてもよいように思います ・アンケート結果でもおおむね成果はあがっていると思います ・医療の現場でもアプローチ方法を他のスタッフと共有することがあります。その際に、プレゼンを含んで共有してつみかさねていけると新人教育に役立ちます。Eラーニングもすすんでいるので活用できるとよいかなと思います	

令和5年度 各学部、分掌 重点目標一覧

NO.2

A: 達成できている。 B: 概ね達成できている。 C: あまり達成できていない。 D: 全く達成できていない。

重点目標	学部	具体的な取組	評価指標	目標値	評価項目	年度末アンケート結果		今年度の取組状況 (○できたこと △課題)	～来年度の取組～ ①重点的に取り組むこと ②改善して取り組むこと	学校関係者評価 (コメント・意見等)
						A	B			
(2) 子どもの自立と社会参加に必要な資質・能力を育む教育環境の整備	寄宿舎	・ 舎生と共に生活目標を作成し、定期的に振り返りを行う。 ・ 指導員間で必要な支援を共有する。	【寄宿舎指導員：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合	70%	・ 目標や支援方法を指導員間で共有し、舎生の目標達成につながる支援ができましたか。 ・ 支援方法を工夫することにより、舎生が目標を達成できたことと寄宿舎指導員が評価できる割合	A 2人 B 10人 C 0人 D 0人	100%	○今年度、2年目の取組となり、舎生が自分自身の将来をより意識し、目標を設定することができた。 ○毎月振り返りを行うことで、目標達成に向けて舎生自身が自分なりに工夫し、意識しながら生活する姿が見られた。 ○目標にかかわる舎生の様子や支援内容を指導員間で共有し、一貫性のある支援ができた。	①グランドデザインを基に、将来を見据えた目標設定、取組を継続する。 ②来年度は3年目となるので、これまでの積み重ねも振り返りながら、成長を感じることができるよう、さらに工夫していきたい。	・ 毎月の振り返りをされたことが素晴らしいと思います ・ 毎月、定期的に振り返りの時間を持つことは大事だと考えます。その積み重ねが取り組むことの重要性を認識し自信に繋がると感じます ・ 異年齢の集団の中、生徒自身が工夫したり意識したりして生活するという想像するだけでも素晴らしいことだと思います。きっと将来社会に出たときに強い自信につながるのではと感じます ・ 保護者さんからも家庭生活への不安から安心に代わることをよく聞きます。なかなか家族ではできなかった面が一人の自立した人間としての力をそだててあげることができるのは素晴らしいと感じています
	生徒部	・ 教職員の危機管理に関する研修や幼児児童生徒の安全教育を実施する。	【実践評価】 ①危機管理に関する研修や訓練が実施できた。 ・ 不審者侵入時対応研修2回/年 ・ 行方不明時捜索体制訓練1回/年 ・ 救急法及び緊急体制対応訓練1回/年 ②『キラリヒヤリハットタイム』の実施 各学期1回	実践結果	○危機管理に関する研修や訓練を予定通り行うことができた。今後も継続して行いマニュアルの見直しなど改善していきたい。 ○キラリヒヤリハットタイムは学期に1回行うことができた。		実践100%	○危機管理に関する研修や訓練を予定通り行うことができた。今後も継続して行いマニュアルの見直しなど改善していきたい。 ○キラリヒヤリハットタイムは学期に1回行うことができた。	①「キラリヒヤリハットタイム」の充実 ・ 児童・生徒の安全教育（登下校、生活の中の危機管理等） ・ 児童会・生徒会活動の企画 ・ 教職員の危機管理に対する意識を高めるために研修や情報の共有	・ 継続した指導を今後もお願いします ・ 廊下などのマニュアルなどから防災に関しての取り組みが日ごろからされていると感じていました ・ 危機管理についての研修が計画通りに実施されたことは素晴らしいと思います。次年度も継続されるように期待しております ・ 一貫教育の環境で守られている児童生徒にとって危機管理は重要なためマニュアルの見直しの継続は大事だと感じました ・ 防犯カメラ設置場所の再検討なども必要かもしれないと感じました。日々の「ヒヤリハット」を共有することで、大きな事故を防ぐことができると感じます。自ら危険に気づくことが出来るようになるためにも、取り組みの継続をお願いします
(3) 子どもが安心して学べる学校づくり	事務部	・ 施設設備の維持、修繕や環境整備に努めるとともに、経費削減を意識し適正な予算執行を行う。	【実践評価】 ・ 安全点検や定期点検等で報告のあった不具合の箇所について、速やかに対応ができた。	実践結果	○不具合の報告のあった箇所については予算の範囲で対応した。保留となっていた箇所について年度後半に予算が付いたものもあり、窓ガラス補修など年度末までに対応できる見込み △多額の経費が必要となるものについては県教委に予算要求しているが、速くに対応できないものがある。		実践100%	○安全点検や定期点検等で報告のあった不具合の箇所について早期に対応方針を決める。 ②既定予算で対応する修繕等について優先順位をつけ効率的な予算執行をする。	・ 金銭的には即対応は無理と思いますが見通しがあると保護者は納得されるのではないのでしょうか ・ 不具合箇所があったとしても即座に対応ができたのと、とても心づよいことだと思います。次代を担う児童生徒の教育に関わる費用は県は即座にすべきと考えますが難しいのでしょうか	
	総務部	・ 幼児児童生徒、保護者、教職員が学部をこえて参加しやすい活動内容や日程を工夫する。(家族の集い、文集「声」の編集など)	【教職員(幼小中高)：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合	60%	・ PTA活動は、教職員と保護者が協働して取り組み、互いの親睦を図る場となりましたか。 ・ PTA活動は、教職員と保護者が協働して取り組むことにより、互いの親睦を図る場と評価した教職員の割合。	A 11人 B 21人 C 3人 D 0人	91%	○予定していたPTA行事が予定通り実施できた。 ○「家族の集い」をサンレイクで実施し多数の参加者があった。文集「声」は保護者が編集長となって発行できたことなど、少しずつ改善を図って実施した。 △保護者主体で計画し、皆が参加しやすいPTA活動の工夫。	①保護者が主体となって準備に参加できるようなPTA活動の工夫。 ②PTA事業部を「家族の集い」、かきばら祭保護者ブース、文集「声」の3つの事業部とし、それぞれのチーフを3人の副会長に依頼し事業部を展開したい。 ③HPの保護者コーナーにそれぞれ事業部のお知らせ、活動状況コーナーを設け、保護者どうしの情報交換の場を設けたい。	・ もっとPが主体になるべきですが距離的な問題もあり学校にどうしても頼ってしまいました。 ・ PTA会長様は積極的に関わっておられます。C評価があるのが気になります。教職員間で意思疎通をはかっていただきたいと思います ・ PTA活動に保護者を巻き込むための具体的なアイデアを募るための計画が立てられると良いですね ・ さまざまな状況の保護者をまとめ主体となってPTA活動をするのは困難なことも多いと想像できますが予定していた行事が予定通り実施されたということ素晴らしいと思います。今後の保護者どうしの情報交換がうまくいくと素晴らしいと思います
(4) 地域とともにある学校づくり	進路指導部	・ キャリア教育全体計画とキャリアパスポートを見直し、キャリアパスポートの中で地域との連携を推進する。 ・ 協働が分かるような活用の仕方について周知する。 ・ 地域連携により、地域資源リストの周知を図る。	【教職員(幼小中高)：アンケート回答】 「達成」「概ね達成」の割合	60%	・ 地域資源リストを活用して、地域と連携・協働した取組を行いましたか。 ・ 地域資源リストを活用して、地域と連携・協働した取組を行った教職員の割合	A 4人 B 20人 C 15人 D 0人	57%	○地域連携コーディネーターのおかげで、地域と学校のつながりが強化されてきた。 ○協働先としての地域に対して、本校のことを少しずつ知ってもらえるようになった。 △あらためて地域のニーズをどう把握するのかを考える必要がある。 △校内での周知が足りない。 △キャリア教育について、見直しが必要であったが、できなかった。	①キャリア教育全体計画の見直し ②他の松江市内特別支援学校の地域担当者や地域連携コーディネーターとの情報交換を密にし、地域のニーズを広く捉えられるようにする。	・ 詳細は分かりませんがこの項目だけ未達です。幼から高までの一貫したキャリア教育をお願いします ・ 将来に向けて重要な取り組みだと思います。地域に向けてのみでなく生徒自身に目を向けられるような取り組みも重要だと感じます ・ 地域との連携については以前よりも増して取り組んでおられるように感じますが、C評価が多いのが気になります。教職員間の意思疎通をお願いします。キャリア教育とは何かについて研修をして土台作りも必要かと思えます。この件について村上真奈学校運営協議会委員など講師ができる方もおられると思います ・ 発表会での地域についての展示を拝見すると地域との協働は良い形で進んでいると感じました ・ 地域資源の活用には情報公開や共有が前提になりますが保護者へ情報交換が難しいと感じます。その範囲でできる限りの地域との情報交換ができれば理想だと思います ・ 生徒さんにはプレッシャーをかけることなく家庭の事情をふまえながらサポートしてあげてほしいです ・ 難読生や保護者さんへの情報提供も工夫できるとよいかなと思います ・ ポッチャを地域の方でできたのがとてもよかったです。まだ開催してほしいとの声を聞いています ・ かきばら祭に参加させて頂き、つながることの大切さを実感しました。R6年度も更に、つながりを意識したご協力ができると喜びます
	支援部	・ 県東部の小中に在籍する聴覚障がいのある子どもへの相談・支援を行う。	【実践評価】 ・ センターの機能として教育相談にあたってきた件数の報告 ・ 専門性を生かし、関係諸機関と連携を図りながらニーズに応じた教育相談を行う。	実践結果	○センター的機能として、要請を受けて巡回教育相談に出向くことができた。 ○聴覚障がいのある児童生徒の担任・教職員への支援に対して市教委や教育事務所等との連携を持ちながら対応することができた。 △要請のなかった難読学校等へどう関わっていくか検討していく。		実践100%	①聴覚障がいを持つ児童生徒について、ニーズに合った適切な支援を行う。理解学習や研修会の中で聴覚障がいについて理解を深めていく。 ②校内支援について要請を受け、ケース会議等チームで対応できるようにしていく。	・ 先日小学校に通う難読児の様子を見る機会がありました。「あ〜ろう学校に行けばもっと伸びるのに」と思いました。支援部の活躍を期待しています。 ・ 専門的知識・経験のある先生方にしかできない大事な支援、さまざまな働きかけをされているのを知り、地域側も理解を深めていかなければと思います ・ 県東部のセンター的機能を持つのが松江ろう学校であり、その機能を果たされているとわかります。学校内外でもSCやSSWも活用しながら展開されていくことが大事だと感じます ・ 学校での教育だけでなくセンター的機能を果たしていることは素晴らしいと感じます。学校内で使っているICT機器やデジタル教材などの普及にもつながっていると思います ・ 企業との連携はどのようにされていましたか？	
(5) 信頼される学校づくり	情報図書部	・ ホームページを定期的に更新するよう働きかけるとともに、常に最新の情報が発信できるよう努める。	【実践評価】 ・ 定期的(月2回)にホームページの更新。	実践結果	○定期的にホームページを更新することができた(ブログ145件、生徒発信20件)。かきばら写真館、保護者ページを新設しHPの充実を図った。 △公開期間や過去のページの取り扱いについて検討が必要である。		実践100%	①定期的にHPを更新していけるよう校内への呼びかけを行い、今後もページ作成更新できるように体制を整える。 ②過去のページの取り扱いについて、公開期間を設定していく。 ③の別案 来年度初めに実施予定の肖像権確認調査をもとにホームページの作成を計画実施する。保護者ページ閲覧(IDパスワードの付与)について、PTA総会等で確認しページ作成していく。	・ HPの充実が良いことです。ちなみに学校図書館の環境や整備状況はどんな感じでしょうか ・ HPは多くの投稿があり素晴らしいと思います。新着記事がすぐに流れてしまってもいいないので短期や分野等で記事をまとめてもいいかなと思います ・ 情報発信は現代では非常に大事であります。引き続きよろしくお願ひいたします ・ プライバシーポリシーのページが表示されていませんが可能なならば作成する方がいいと思います ・ 地域の難読児に向けての情報発信や共同できる取り組みがあるとういすね ・ ブログが頻りに更新されていくのが嬉しいかと思っております ・ ブログを常にアップをされており、生徒達がどのような学習や体験をしているのか、地域の皆さんと、どのように関わっているかを知ることができました ・ 生徒発信のツールがあってもいいかな。と思います。情報をどのように整理をし、どのようなことに気をつけて情報発信をするか等を実践を通して学ぶことができると感じました ・ ホームページは様々なコンテンツがあり、興味深く拝見しました。学校の魅力を伝える、生徒さん達が自己アピールする為の大切なツールだと思いますので、更に活性化すると良いですね	